

～競馬予想パドックルーム・ポリシー&コンセプト～

競馬予想パドックルームでは、従来の「競馬の常識(競馬観・相馬観)」とは異なるスタンスを構築推奨しております。ちなみに、「競馬観」とは、「予想の方法、馬券の買い方、競馬ギャンブルとしてのメンタル心理、向き合い方」など、「相馬観」とは、「予想における馬体・パドックの見方」となります。

つきましては、本サイトを読む上で、以下の点をご理解頂ますようお願いいたします。

内容と表現方法

本サイトの内容は、従来の一般的な「競馬の常識」を覆すことからスタートしており、これまでに類が無い故に、読者様にとって、「理解しがたい、これまで培った常識や経験を否定される」等、感じる内容が含まれております。これは、当方の「競馬観・相馬観」を理解する上で、避けては通れない感情であり、また、あえてそうした感情に訴えかける内容や書き方をしている部分があります。

サイト目的

本サイトの目的は、決して、「一個人や従来の競馬観・相馬観を否定すること」ではありません。あくまで、「当方の競馬観・相馬観を読者様に伝えること」、にあります。確かに、偏った「競馬観・相馬観」を刷り込む、現在の競馬予想の世界を良しとしない思いはありますが、それだけの理由から、従来の「競馬観・相馬観」を否定しているわけではありません。

当方の「競馬観・相馬観」を理解するためには、従来の「競馬観・相馬観」の否定し(すべて忘れ去り)、完全なる無の状態にならなければ、難しいことをご理解ご了承ください。

発信する知識の種類

本サイトでは、競馬で勝ち続けることを 100%保障するノウハウなどは、一切解説しておりません。私自身、そういった類いは全く知りません。

ただし、ギャンブルをする以上、知らなければ 99%勝ち続けることができない「ギャンブルの基本知識」や、「負けが必然であるプレイヤーが持つ競馬観、相馬観」、については熟知しており、それに関する解説はしております。

全自己責任

本サイトや関連コンテンツにおいて、それを参考にして生じる馬券購入他、あらゆる損益を、一つの例外もなく、読者様の己の責として受け入れてください。博打のリスクや損失をすべて受け入れることは、ギャンブラー足る最低限の資格と言えます。

そのため、「詐欺、騙された、金返せ」などの類いの苦情やコメントは一切対応いたしません。これらは、競馬ギャンブラーとして、己の無知幼稚の証明に他ならず、「考え、発すること自体が恥ずべき行為」であることを認識してください。競馬がギャンブルである以上、いかなる理由があろうと、その結果の責をすべて許容した上で、本サイトを読み進めていただければと思います。

読者対応のスタンス

本サイトは、読者様に対して、「快適かつスマート」な対応やサイト運営を心がけてはおりません。「競走馬や己の競馬観(ロジック)に忠実である事」、「既存の競馬常識を打破する事」、「継続する事」、という三点において、一貫する事こそ、本サイトならびに管理人として、読者様への誠意と考えております。

また、本サイトでは、原則、読者様に対して、「競馬ギャンブラー」として向き合うと同時に、読者様にも、「競馬ギャンブラー」、であることを求める部分があります。それ故に、コメントやメール対応なども、ギャンブラー的にNGなモノなどには、対応しきれない場合があります。

著作権

本サイトでは、著作権の放棄はしておりませんが、ネットや紙その他、情報媒体における転載や利用は、基本フリーです。ただし、その際には、本サイトへのリンク、本サイトを引用元と明示した上で、ご利用ください。また、本サイト含め、管理人が作成公開しているレポートについても、転載や再配布ご希望の場合は、一度メールでご相談ください。

不誠対応

本サイトの内容を、コピー同等の引用、転載、オマージュすることで、独自内容として利用掲載することは禁止しております。また、同一人物による複数ペンネームを使用した苦情コメントも一切受付いたしません。

上記に該当する行為を行った場合、以前今後問わず、こちら側で該当者の運営サイト公開や、コメント拒否など、厳正な対処を予定しております。お心当たりがある方は、一度、直接連絡がとれるメールアドレスにて、ご連絡されますようお願いいたします。

最後に～競馬の楽しみ方について

当方は、「競馬をギャンブル」とするスタンスであり、「競馬を予想する」ことを否としている面があります。が、あくまでそれは、ギャンブルにおける理論上の話であり、「競馬を予想する」、といった人や、その楽しむスタンス自体を否定しているわけではありません。むしろ、そうした競馬ファンの多数派である、「競馬予想家」の方にこそ、読んでいただきたい内容でもあります。また、「馬が好き」、「競馬はスポーツ、感動のドラマ」といった人やスタンスも否定しておりません。私自身も、純粋に「馬体をみること」が好きでもあります。

「競馬を予想して探求しようと、競馬をスポーツとしてとらえようと、馬への愛情で向き合おうと、馬主として関わろうと、ギャンブルとして挑もうと」、それらのスタンスや楽しみに、優劣上下など一切ありません。そのすべてがあつてこそ、今の競馬が成り立っている、と言えます。このことを自戒とした上で、「競馬をギャンブル」として向き合っていることをご理解いただければと思います。

管理人武虎